

大阪府新教育長候補者の撤回を求める
(緊急意見表明)

公教育計画学会理事会

橋下徹大阪市長（前大阪府知事）の学生時代からの友人である中原徹氏が、3月で任期満了となる大阪府教育長の後任として府議会に提案されている。中原氏は橋下氏の知事時代に府立高校の民間人校長として任用された人物であるが、「維新の会」幹事長の松井一郎大阪府知事が「維新の会」代表の橋下氏の意向を受けて（または酌んで）中原氏を新教育長に起用しようとするものである。

そもそも校長や教育長といった公務員の採用に私的な友人関係を基に人事権という公権力を行使するのは公私混同も甚だしい情実人事の最たるものである。

しかも、中原校長は、府教委が2012年度に実施した「参加義務がある」とされる校長研修を、「校務を優先させる」との理由で全て欠席していたことが明るみに出たが、おそらく権力者の庇護（バックアップ）を受けている自負（驕り）があったものと思われる。

仮にこのような新教育長候補者を撤回しないのであれば、校長・教頭を含む全ての教職員には、校務・教育を優先させる場合は、全ての行政研修に「参加義務」がないことを明記すべきである。

2013年3月15日